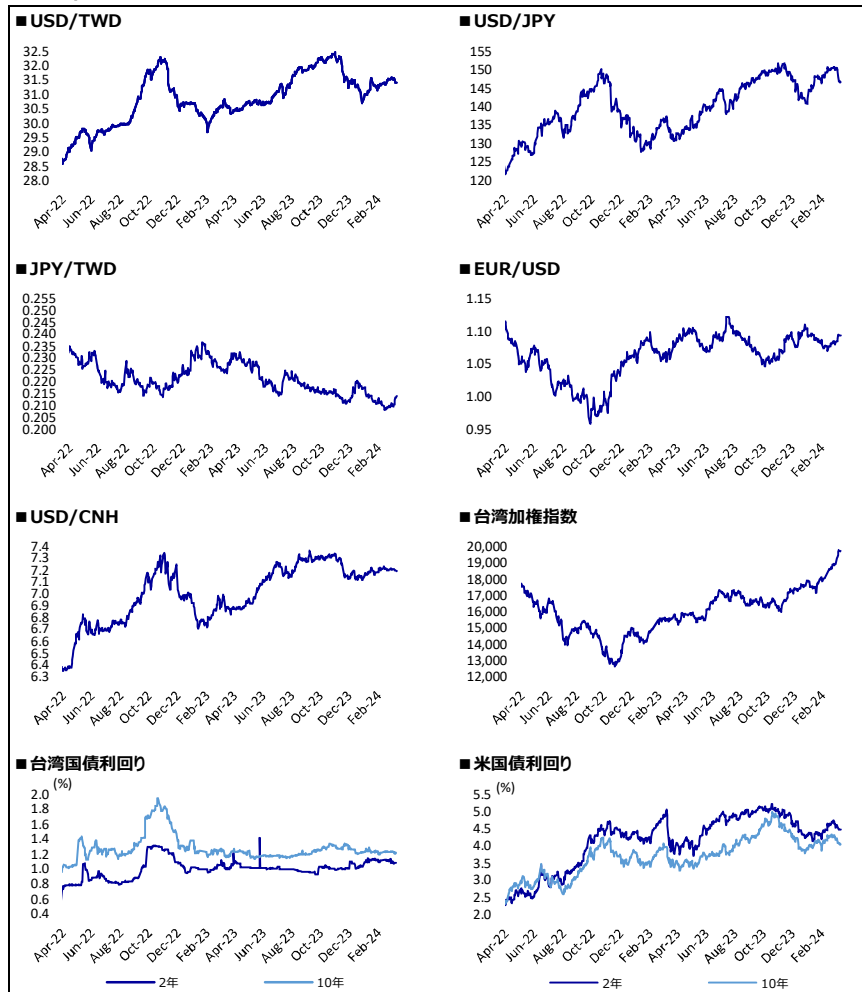


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルは下落。週初3/4は31.580でオープン後、史上最高値を更新していた米国株につれ台湾株も上昇する中、外国人投資家による台湾株買いを背景に台湾ドル買いが優勢となり31.50近辺まで下落。3/5は個人投資家による海外投資需要の高まりを受けてドル買いが優勢となり31.60近辺まで上昇。3/6は外国人投資家による台湾株売りを背景に、一時31.629まで上昇。3/7は前日の米株の上昇を受けて台湾株が堅調に推移していたことを受けて台湾ドル買いが優勢となるも、保険会社の海外投資に絡んだドル買いも見られていたことから31.50台で揉み合いの推移。3/8は前日発表された台湾2月CPIが市場予想を上回る結果となった他、外国人投資家による台湾株買い、製造業者からの外貨売り等も見られていたことでドル売りが進み、一時31.422まで下落した。最終的には前週比0.5%ドル安台湾ドル高の31.438で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は967.9億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は下落。週初3/4は150.06でオープン後、米国地区連銀総裁のボスチックより「利下げを急ぐ必要はない」との発言が聞かれ、米金利が上昇するとドル買いが進み一時150.57まで上昇した。3/5は米2月サービス業ISMにおいて支払価格指数と雇用指数が前回比弱の結果となっていたことを受けて、米金利が低下するとドルが売られ150円近辺まで下落。3/6は米国雇用関連指標が市場予想を下回る結果となり、ドル売りが進み149円近辺まで下落した。また、パウエルFRB議長講演では「年内のいずれかの時点で利下げが適切になる可能性が高い」との発言が聞かれた。3/7は、3月の日銀政策決定会合におけるマイナス金利解除への思惑が高まるなか、円買いが加速し148円近辺まで下落した。3/8は、日本大手企業の春闘における賃金交渉が順調に進んでいるとの報道があった他、一部関係者より「日銀は3月会合でマイナス金利解除を検討」との報道がなされたことや、米2月雇用統計で前回分の結果が大きく下方修正されたことなどをを受け、ドル売り円買いが一段と加速し一時146.48まで下落した。最終的には前週比2.0%ドル安円高の147.09で先週の取引を終了。

今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：31.300-31.500
今週は上値の重い推移を見込む。米インフレ率、雇用指標の鈍化が確認される中、米金利の上昇余地は限定的な他、台湾株価は史上最高値を更新し20,000ポイント台を何う水準まで上昇しており、台湾ドルは買われやすいであろう。

■ USD/JPY 予想レンジ：145.00-148.00
今週は上値の重い推移を見込む。19日に日銀金融政策決定会合を控え、マイナス金利解除への思惑が高まりを見せる場合、日米金利差の縮小が進み、ドル円は上値の重い展開となるであろう。

今週の予定

3/11 (MON)	
3/12 (TUE)	日2月企業物価、米2月CPI
3/13 (WED)	
3/14 (THU)	米2月PPI、米2月小売売上高
3/15 (FRI)	米2月輸入物価、米2月鉱工業生産、米3月ミシガン消費者信頼感指数

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。